NIE実践報告

1．タイトル：☆アップとルーズを使って、テーマ新聞を作ろう

2．学校名

福島県只見町立只見小学校

3．実践者名（代表者名）

藤田多加

4．学年

第4学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　16人

6．単元（本時の学習課題）名

二　材料の選び方を考えよう（国語）

7．目標（狙い）

自分の興味のある課題が書いてある新聞を集め、写真のアップとルーズを見つけ出し、レイアウトを工夫しながらテーマ新聞を作る。

8．評価の視点

①新聞のアップとルーズのそれぞれの特徴を理解できたか。
②興味のある新聞記事をレイアウトを工夫しながらテーマ新聞を作ることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「アップとルーズで伝える」（教科書教材：光村図書）　6時間
「四年三組から発信します」（教科書教材：光村図書）10時間　合計16時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①説明の写真の内容と文章の内容を合わせて段落ごとの内容を読み取る。（2時間）
②接続語に着目しながら、アップとルーズの効果の特徴をまとめる。（2時間）
③文章全体の組み立てを捉え、段落構成を図にまとめる。（2時間）
④教材文を読み、自分の興味ある新聞記事を見つける。（3時間）
⑤必要な図書資料を読んだり、直接取材したりして情報を集め、整理して文章を作る。（3時間）
⑥見出しや割付などのレイアウトを工夫し、言葉や表現・内容を考えて文章を推敲し、友だちと読み合って清書する。（3時間）
⑦友だちの作品の感想を発表して交流し、まとめをする。（1時間）
（留意点）
・家族・友だちへのインタビューなども取り入れながら情報を収集できるよう支援する。
・1学期に学習した「新聞記者になろう」を想起させながら、見出しや割付などの工夫を考えさせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

児童は自分の好きなスポーツ動物、身近な家族の出来事などの記事に興味を持って取り組んでいた。新聞写真での「アップとルーズ探し」はほとんど正しく区別することができていた。

12．成果と課題

教科書だけでなく新聞を活用することで、子どもたちの関心が身近なできごとから日本や世界の社会の動きへと自然に視野が広がっていった。また、新聞だけでなく、おうちの人と話し合ったり、本やコンピュータを調べたりして、いろんな考えに気づくようになった。新聞を通して国語科の学習内容を確認したり、考えを深めたりすることができるようになり、自由作文でも新聞記事をもとにした意見文を進んで書くようになってきたことが大きな成果である。しかし、児童によっては新聞の記事のみからしか判断できなかったり、内容が片寄ったりしているので教師の支援や学習方法の一層の工夫が必要であると感じた。